

# 鳥獣被害の今



## 鳥獣に立ち向かう！



山際に設置した  
鹿柵・電気柵の全長は約95km



鳥獣被害とは、エゾシカやアライグマなどの野生鳥獣により、農作物の減収や品質低下などにより、経済的な損失を受けることを言います。

本町の鳥獣被害の現状やこれまで町民が力を合わせて、農作物をどう守ってきたかを、私たちが知ることはとても大切です。

### 有害鳥獣被害の現状

下のグラフのとおり、本町では平成22年度に農業被害額が、9千7百57万円に上り、そのほとんどはエゾシカによるものです。エゾシカが農地に侵入して来ないよう、平成23年度に国の補助を活用して農業者自らが、町内一円の山際に鹿柵を設置（総延長約95キロメートル）しました。この対策で、翌年からの被害額は大幅に減少しました。

しかし、この柵も経年劣化などで傷んできてエゾシカが侵入してくるようになり、令和に入ってからには、被害額が増加傾向にあります。鹿柵は、痛んだ部分を補修しながら侵入を防いで

いますが、昨年はヒグマの出没が増加したことで、柵の見回りも容易にできなくなっています。

また、山菜採りなどで山林に入る際に、鹿柵の出入り口扉の閉め忘れが生じることもあるため、利用者の意識の共有が課題となっています。

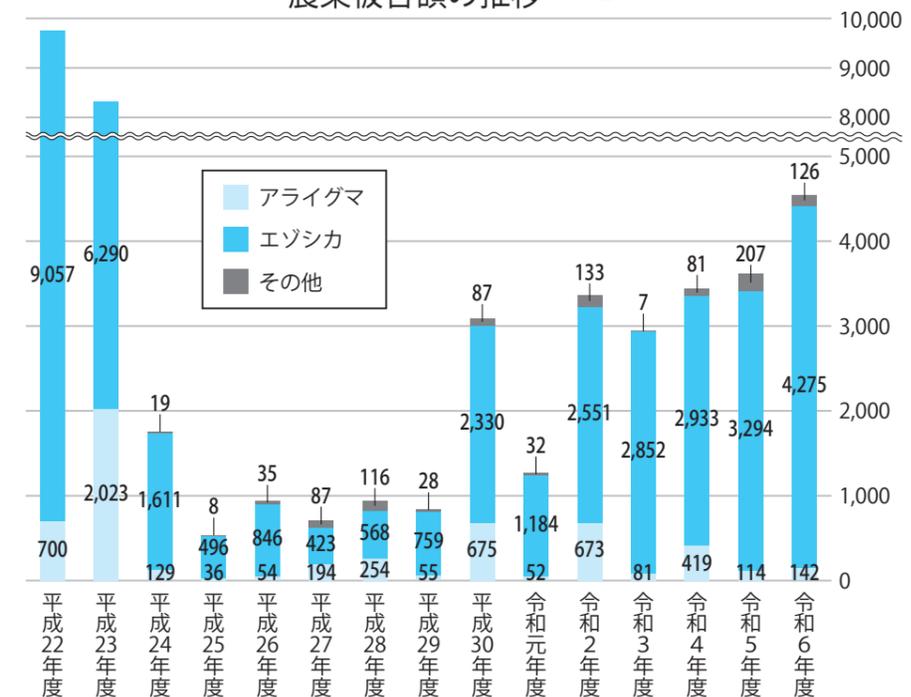
### なぜ被害が増加したのか

町は、鳥獣被害を減らすため、北海道猟友会栗山支部に有害鳥獣の駆除を委託しています。その他、さまざまな対策を行ってきましたが、特効薬のような対策はありません。

被害増加の原因を特定することはできませんが、気候変化で山に動物の餌が減ったことや、里に下りてきた動物が農作物の味を覚えてしまったこと、山に入らなくなり生息数が増加したことなど、いろいろな要因が考えられます。

私たちが暮らす環境は、日々変化しています。これまでのことを知ることで、これから私たちにできることはあるのでしょうか。

農業被害額の推移 単位：万円



太陽光が電源の電気柵



ヒグマに荒らされたナスのビニールハウス

### 農業被害を受けている生産者の声

エゾシカによる被害は、以前は収穫時期に少し遭う程度でしたが、2、3年前からは芽が出たばかりの作物も被害に遭うようになり被害額が急増しました。鹿の頭数も増えていると思いますが、山間部に設置した鹿柵が傷んできていることの影響しているのか、冬を除いて年中、日没後に鹿がやってきます。

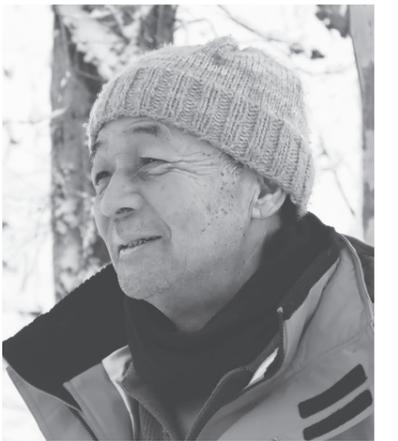
私の地域は、平地で川に近く、銃による駆除は出来ない地域です。わなで駆除する方法もありますが、鹿も学習しますし、効果はそれほど高くありません。私は一昨年前、電気柵を設置



種馬鈴薯・種麦・種大豆の生産者  
鈴木 健一さん (南角田)

# 実りを守る！

## 猟友会について 聞く！



北海道猟友会栗山支部長  
正井 文雄さん  
ハンター歴24年

私は山間部に農地を持つているので、鳥獣被害を防ぐために48歳で銃を持ち、猟友会に所属しました。猟友会のメンバーには、自身の農地や農作物を守るためにハンターになった人と、猟や銃に興味を持ちハンターになった人がいると思います。

栗山支部は近隣4町で構成され78人が在籍し、栗山町は31人が登録されています。猟友会の活動は、個人またはグループで行うの猟と、町から依頼を受けて行う有害鳥獣駆除があります。4月から11月の期間は、主に個人で対象となる鳥獣の駆除を行い、12月末から3月は国有林での鹿の一斉捕獲が解禁となるので、有害鳥獣駆除員を3班編成にして交代で山に入っています。

発砲が許可されている地域に入る道路にはゲートに鍵がかかっているため、一般の人が入れないようになっていますが、事故が起きないよう、

う、発砲には細心の注意を払わなければなりません。

道内で狩猟中の事故があつてから、禁猟区が増えてしまい、その影響もあるのか、野生動物は増加していると思います。栗山では、最近若い方が猟友会に加入してくれていますが、一緒に行つて指導できる、狩猟可能区域が減つていて、後継者の育成も難しくなっているのが現状です。

また、昨年はクマの出没が本当に多く、てんでこ舞いの年でした。農業被害の多い、エゾシカやライグマは基本的に、人を襲うことはありませんが、クマはとてつもなく危険です。駆除できる銃も違いますし、箱わなも重機がないと設置できません。実際に出勤できるメンバーは限られていますので、出勤してくれたメンバーには感謝しています。今年にはクマの出没が多くないことを願っています。

### 狩猟の魅力にはまり 栗山町に引越しました。

栗山町に引越しました。

8年前、大学の先輩が狩猟免許を取ると聞いて、自分も取りたいと思ひ、すぐに準備を始めました。ハンターになって、初めは先輩と一緒に狩猟に行っていました。そのうち1人で山に入るようになり、時には阿寒方面にも行っていました。当時は札幌市に住んでいましたが、狩場へ行くのに便利な栗山町に引越して来ました。

栗山町に住むようになってから農業関係の仕事に就き、そこで農作物が鳥獣被害に遭うという経験をしました。それがきっかけで、鳥獣駆除に関わりたいたいと思い、3年前に栗山町の猟友会に入りました。

有害鳥獣駆除員になって、エゾシカの一斉捕獲に参加し、グループで狩をする巻き狩りにも参加でき、私と同じように山が好きな人と一緒に



ハンター歴 7年  
大場 香菜さん

猟に行けることがとても楽しいです。

私が猟をする一番の目的は、おいしい肉を食べるためです。命を頂くので、1発で仕留められるようチャンスを持って撃つようにしています。携帯電話の電波の届かないところにも行きますし、1人で狩りをすると危険なこともあります。でも、風の音と野生動物の気配だけを感じて山で過ごす非日常な時間は、何ものにも変えられません。

捕獲した後は、山から運ぶのが1人では大変なので、筋トレをしていた時期もあります。体力も必要ですが、スコープに意識を集中して見ているので、猟から帰ると、身体より目が疲れていることが多いです。

今、銃の指導員の資格を取ろうと挑戦しています。これからも、猟友会の皆さんと、有害鳥獣駆除員としても、活動していきたいと思っています。

### 農業被害を減らすため

## 町の取り組み

### 補助制度など

年度	R3	R4	R5	R6	R7 (見込み)
エゾシカ	522	462	496	580	602
ライグマ	454	466	481	350	676
その他	57	37	86	110	91
クマ	0	0	1	1	12

種類	町	国	1頭の合計額
エゾシカ	6,000円	7,000円	13,000円
ライグマ	6,000円	1,000円	7,000円
キツネ	7,000円	1,000円	8,000円
タヌキ	6,000円	1,000円	7,000円
カラス	1,500円	200円	1,700円
ハト類	1,200円	200円	1,400円
ウサギ	5,000円	1,000円	6,000円
クマ	50,000円	8,000円	58,000円

その他、北海道猟友会栗山支部に入会した場合、罾など備品の支給あり（不定期）

【問い合わせ】農林課農林業グループ ☎73-7515

### 有害鳥獣から農作物と暮らしを守るために

近年、エゾシカによる農作物の被害額が増えてきていることもあり、昨年、山際に設置している鹿柵を全て点検しました。鹿柵の設置から15年程度経過し、倒木や積雪の影響で修理が必要な箇所が増えてきていることを改めて実感しました。

急な斜面や、笹やぶが生い茂り足場が悪い場所もあって大変な中、管理されている地域の皆さんのご尽力には本当に頭が下がります。

鳥獣被害を防ぐには、野生動物と「距離をとる」「境界をはっきりさせる」ことが重要です。具体的な対策としては、野生動物の隠れる場所を少なくする草刈りがとても有効です。更に鹿柵や電気柵の設置や、個体数を減らすための有害鳥獣駆除です。有害鳥獣駆除には、猟友会のハンターが必要となります。幸い栗山町

●ハンターへの支援  
狩猟免許取得支援

(1)予備講習料(銃・罾)	全額
(2)申請手数料	全額
(3)健康診断料	全額

※条件：北海道猟友会栗山支部に入会

●農業者への支援  
有害鳥獣侵入防止電気柵設置支援

電気柵機材一式  
費用の1/2以内  
(上限200,000円)  
※町内農業者に限り

●地域組織への支援  
鹿柵侵入防護柵設置等助成

栗山町一円に設置しているエゾシカ防護柵の設置費、修繕費  
※町内エゾシカ防護柵管理組合に限る

では若い方が入会されていますが、まだまだ必要と考えていますので、今後も引き続き、担い手確保に努めていきます。

今年度はエゾシカとライグマの捕獲数は過去最多を更新する見込みです。山の実なりの不作により、クマを含む野生動物全般の出没が目立つた年となりました。

本町の基幹産業は農業です。農業被害は、農業者だけの問題と考えず、私たちが被害の実態を知り、自らができる、家庭菜園の管理や生ごみの処理を適切に行うことで、暮らしを守っていきましょう。



農林課農林業グループ  
笠原 倅輔 主事